

(端裏書)

「新九郎殿
新八郎」

九郎右衛門

御別紙令披見候、然_者
先達_而より内願之儀有
之候處、其御地川口
御番所御用向兼今般
林善太兵衛致出府候に付
万端催込候様別段之
趣を以御念願速致出来
候之様、将又先達被差出候
願面境浦淀江兼貴殿
支配之儀文中々候處淀江
之儀_者郡違是迄古例も
無之二段ニ被致可然由、依之
先日野川西涵地より栗島
灘迄被相願宜旨御認書
去月下旬被差出候由委細
御紙面之趣具令承知
御船手_江談置候間、左様
御承知可被申候、右御答迄
如此に候、以上

四月十五日